

桔梗新聞

令和二年第二号

最近の生徒会

現在生徒会執行部では、秋の球技大会をどのように開催するか、競技種目を中心に検討を重ねています。

最近では、暗いニュースが多いですが、多治見高校ではいいニュースもあります。

ゼミの表彰や、生徒会への寄贈など。人生塞翁が馬。悪いことが起これば、次はいいことがあるはずです。

進取 努力 創造

≪今週のコンテンツ≫

- トピック
…土岐川ゼミ
- event
…寄贈品贈呈式
- …学問のすすめ
- …夏休みの過ごし方
- お知らせ
…リカちゃん人形

《ホームページ》

<https://school.gifu-net.ed.jp/tajimi-hs/>

event



七月二十二日、株式会社ひかりホールディングス様と十六銀行様から、生徒会に向けて、カメラを寄贈していただきました。

株式会社ひかりホールディングス様の、代表取締役、倉地猛様、管理部長丹羽直樹様、十六銀行様の、多治見支店長、中村直樹様、に多治見高校にきていただき、寄贈品贈呈式を行いました。倉地猛様は、多治見高校が母校で、卒業した後、すぐに就職し、そこから様々な努力の末、代表取締役になったそうです。

寄贈品贈呈式では生徒会を代表して三人の生徒が式に出席し直接カメラを受け取りました。また、生徒会長の大野歩さんは、「このカメラを、これからの生徒会活動に活用していきたい」と今後の活動に対して意気込んでいました。カメラは、学校行事や桔梗新聞に活用していきます。

お知らせ

100周年を記念して
多治見高校使用のリカちゃん人形
の発売決定！

トピック

七月九日、直前まで多治見ロータリークラブの会長をされていた市原様から土岐川ゼミの成果の活動を表彰していただきました。土岐川ゼミは、三年前から自然科学コースの研究として、昨年からは二年生のゼミ活動として行われており、昨年度にはその活動が認められゼミ・グランプリ研究専門部門にて内閣総理大臣賞を受賞しました。この活動は、土岐川を「高校生の手でも自然再生が出来ないか。あまりお金をかけずに地域に貢献したい。」と言うことで始まったプロジェクトであり、実験河川での調査を通して実際に魚の種類を増やすことに成功しました。

二年生の徳田朝飛さんは「活動が認められ嬉しかった。今後も魚の保護をしていく。」と述べ、三年生の朝倉琢也さん、大池浩太さんも今後もこのプロジェクトを続けて欲しいとの思いを後輩に伝えていました。市原様は、「川を中心に人が集まる町にして欲しい。」と今後の活動にも期待を寄せてくださりました。

学問ノススメ

〜夏休みの過ごし方〜

例年より

だいぶ短い夏休み、短い期間ですが計画性をもって日々を過ごしましょう。